

3年間を見通した特色ある指導事例 技術・家庭科(家庭科分野)

茨城県北地区(2013/02/15)

★87. 5時間の特色

《1学年の最初にA(1)、3学年の最後に生活の課題と実践を履修》

小学校の家庭科を踏まえた家庭分野のガイダンスを「自分の成長と家族」に設定した。自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考えながら、家族の一員として、生活の自立を図る視点から、3学年間の学習の見直しをもてるようにした。また、3学年最後に3学年間の学習を振り返る時間をとり、これからの生活を展望できるようにした。

《指導内容A～CとDの関連性》

基礎的・基本的な知識及び技術を習得することで、家庭や社会を形成する一員としての自覚をもち、生活の自立ができるようにした。そこで、衣食住などの基礎的・基本的な内容を学習した後で、家庭や地域に目を向け、消費や環境について理解を深められるようにした。また、消費と環境が家庭生活全般に関係していることを意識付けした。

《C(2)(1)(3)を続けて履修》

自己の家庭生活に目を向けて生活を豊かにするものを製作できるようにした。

《B「食生活と自立」を3学年間にわたり履修》

食に関する題材を3学年間を通して配列することにより、身に付いた知識及び技術をくり返し活用できるようにした。各学年で学習することで、基礎的・基本的な知識及び技術の確実な定着が図られ、さらには実生活に生かしていく力が身に付くと考えた。

1年生(週1時間で実施)

時間	題材・学習内容	指導要領 内容項
1	自分の成長と家族(ガイダンス)	A(1)ア
2		
3	食生活と栄養、献立作り ・食事のとり方を考えよう ・食品と栄養素のかかわりを考えよう ・栄養素のはたらきを知ろう ・何をどのくらい食べたらよいのだろう ・バランスのとれた献立を作ろう	B(1)アイ B(2)アイ
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11	食品の選び方 ・生鮮食品の選び方を考えよう ・加工商品の選び方を考えよう ・食品の表示を調べよう ・食品に合った保存方法を調べよう	B(2)ウ
12		
13		
14		
15	日常食の調理と食文化 ・安全で衛生的な食生活とは何だろう ・調理の流れや手順を知ろう ・野菜のいろいろな切り方を知ろう(第1回切り方テスト) ・肉汁たっぷりのハンバーグを作ろう(ハンバーグ、温野菜サラダ、野菜スープ) ・身がふくらおいしい鰯の照り焼きを作ろう(鰯の手開き、照り焼き、青菜のごまあえ、かきたま汁) ・地域の食材を使って肉じゃがを作ろう(肉じゃが、野菜の浅漬け、みそ汁) ・調理実践の成果と課題を考えよう(第2回切り方テスト)	B(2)アウ B(3)アイ
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26	住生活と自立 ・住まいの役割とは何だろう ・住まいの働きとかかわりについて考えよう ・安全に済むにはどうしたらよいだろう ・健康で快適な室内環境を考えよう ・よりよい住生活のために	C(2)アイ
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		
35		

2年生(週1時間で実施)

時間	題材・学習内容	指導要領 内容項		
36	快適で豊かな衣生活 ・衣服の働きと着る目的を考えよう ・自分らしい着方をしよう ・衣服の計画的な活用方法を考えよう ・衣服の選び方を考えよう ・衣服の手入れと補修をしよう	C(1)アイウ		
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44			生活を豊かにするために工夫しよう ・生活を豊かにする布を用いた小物を考えよう ・布を用いて、生活を豊かにする小物を作ろう (夏休みに実生活の中で自分が作った小物を活用する) ・作った小物を活用し、成果と課題を発表しよう	C(3)アイ
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51				
52				
53	わたしたちの消費生活 ・消費者としての自覚をもとう ・商品の選択と購入について考えよう ・消費者の権利と責任を知ろう ・消費者トラブルを解決する方法を知ろう	D(1)アイ		
54				
55				
56				
57	環境に配慮した消費生活 ・生活と環境のかかわりについて考えよう ・よりよい消費生活をめざして～循環型社会～	D(2)ア		
58				
59				
60				
61	家庭と家族関係 ・家庭や家族の機能について考えよう ・家庭や地域とのかかわりについて考えよう ・家族関係をよりよくしていこう	A(2)アイ		
62				
63				
64				
65	幼児の生活と家族 ・幼い頃を振り返ろう ・幼児の心身の発達と生活を考えよう ・幼児の生活と遊びを知ろう	A(3)アイウ		
66				
67				
68				
69				
70				

3年生(技・家で隔週で実施)

時間	題材・学習内容	指導要領 内容項
71	幼児の生活と家族② ・幼児と触れ合おう ・子どもにとっての家族を考えよう	A(3)アイウ
72		
73		
74		
75		
76		
77		
78		
79	地域の食材を生かした調理をしよう ・地域の食材を知ろう ・地位の食材を生かした調理をしよう ・地域の食材を紹介しよう	B(3)イウ
80		
81		
82		
83		
84		
85		
86		
87		
88	生活の課題と実践	A～D

配慮事項等:

・1学年の最初のガイダンス時には、ガイダンスシート、自立度チェックシートを活用する。ガイダンスシートを活用することで、3学年間の学習がどのように進められるのか、学年を追うごとに自分・家族・社会へと広がり、最終的にはよりよい生活者を目指して学習を進めていくことを生徒達が目で見てわかるように作成した。また、自立度チェックシートを活用することで、知識及び技術の習得の確認、家族や地域などのかかわりの広がりの意識化、生活に必要な材料道具の活用化、自己の生活体験の拡大化などを期待できる戸考えた。

・授業ごとに行う自己評価カードとして、ステップアップカードを活用する。これを活用することで、目的意識の明確化、3学年間の学びの蓄積、適切な判断力の向上、次時への学習への意欲付けなどの学ぶエネルギーが高まり、意志決定能力が身に付くと考えた。

・B(3)の題材配列では、切り方テストを2回実施する。第1回目は「指導のための評価」として実施し、「おおむね満足できる状況」に満たない生徒を把握する。その後、個別支援を行い、第2回目を「評価のための評価」として実施することで、「おおむね満足できる状況」に引き上げることができるものと考えた。

・生活を豊かにする小物の製作では、作った作品を夏休み期間を活用して実際に生徒自身に使用させることで、使いやすさや丈夫さなどを確認させたい。また、夏休み明けにそれらの反省をすることで、製作に対するさらなる意欲や生活を豊かにする視点をもつことができると考え、課題と実践として取り上げた。

技術・家庭科（家庭分野）評価規準表

題材名	自分の成長と家族	(2 時間扱い)
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長を振り返ろう。 ・家庭分野の学習をはじめよう。 	

1. 評価規準に盛り込むべき事項

	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
A (1) ア	3学年間の学習に見通しをもち、自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて関心をもって学習活動に取り組もうとしている。			

2. 学習内容及び評価規準の設定例

・自分の成長を振り返る (1)	・小学校の学習を振り返り、3学年間の見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
・家庭分野の学習とは (1)	・自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられてきたことに気付いている。			

3. 生活や社会と関わる「よりよい生活者」を育む手立て（言語活動など）

- 自分の成長を振り返ろう
- ・自分がしてもらったことや一人でできるようになったことを振り返ることで、自分の成長や生活は家族や周りの人に支えられていることに気づかせる。
 - ・自分の成長を振り返る際には、幼児の写真や映像を見せることで、実感をともなった理解ができるようにする。
- 家庭分野の学習をはじめよう
- ・小学校での学習内容を振り返る時には、小学校の教科書を持参させる。
 - ・『自立度チェックシート』で、自分が分かっていることやできることを点検することを通して、現在の課題を見付けたり3年後の自分の姿をイメージしたりさせる。
 - ・『ガイダンスシート』を用いた説明を通し、3年間の学習の見通しや「よりよい生活者」のイメージをつかませる。また、これからの学習に対する目標を記入し、発表させることで見通しをもたせる。
- ※『自立度チェックシート』『ガイダンスシート』は3年間通して使用し、学習の過程や積み重ねを実感できるようにしていく。

技術・家庭科（家庭分野）評価規準表

題材名	家庭と家族関係	(4 時間扱い)
	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や家族の機能について考えよう ・家庭や地域とのかかわりについて考えよう ・家族関係をよりよくしていこう 	

1. 評価規準に盛り込むべき事項

	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
A (2) アイ	家庭と家族関係について関心をもって学習活動に取り組み、家庭生活をよりよくしようとしている。	家庭と家族関係について課題を見付け、その解決を目指して工夫している。		家庭や家族の基本的な機能、家庭生活と地域との関わりについて理解している。

2. 学習内容及び評価規準の設定例

<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や家族の機能について (2) ・家庭や地域とのかかわり (1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活と地域とのかかわりに関心をもち、地域の人々との関わりについて話し合うことなどを通して、地域の人々のつながりの大切さに気付いている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や家族の基本的な機能について理解している。 ・家庭生活が地域の人々とのつながりの中で成り立っていることを理解している。
<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい家族関係 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの自分と家族との関わりに関心をもち、家族関係をよりよくするためにできることを実践しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活や事例の家族について課題を見付け、家族関係をよりよくする方法について考え、工夫している。 		

3. 生活や社会と関わる「よりよい生活者」を育む手立て（言語活動など）

<p>○家庭や家族の機能について考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の機能と衣食住とを関連付けて考え発表し合うことで、家族の機能が衣食住などの生活の営みによって支えられていることに気付かせる。
<p>○家庭や地域とのかかわりについて考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活から具体例を挙げさせ、地域の活動や地域の人とのかかわりを考えさせる。 ・地域の活動や行事について調べたことを発表する。
<p>○家族関係をよりよくしていこう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族関係をよりよくするためにどのような方法があるのか、家族の一員としてどのようなことができるか考えさせ、これからの生活で実践できるようにする。 ・生徒にかかわりの深い課題を取り上げ、ロールプレイングなどを通して具体的に考えさせる。

技術・家庭科（家庭分野）評価規準表

題材名	幼児の生活と家族	（ 16 時間扱い）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼いころを振り返ろう ・ 幼児の心身の発達と生活を考えよう ・ 幼児の生活と遊びを知ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児と触れ合おう ・ 子どもにとっての家族を考えよう

1. 評価規準に盛り込むべき事項

	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
A (3) アイウ	幼児の生活と家族について関心をもって学習活動に取り組み、家族又は幼児の生活をよりよくするために実践しようとしている。	幼児の生活と家族について課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。	幼児の生活と家族に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	幼児の生活と家族について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。

2. 学習内容及び評価規準の設定例

<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼いころを振り返る (2) ・ 幼児の心身の発達と生活 (2) 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の心身の発達の特徴について理解している。 ・ 身体の発達 ・ 運動の機能 ・ 言語、情緒、社会性 ・ 幼児の発達を支える家族の役割について理解している。 ・ 子どもの保護 ・ 情緒の安定 ・ 社会性 ・ 基本的な信頼関係や生活習慣の形成の重要性とそれを支える家族の役割について理解している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の生活と遊び (4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の観察や遊び道具の製作などの活動を通して、幼児に関心をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び道具、遊び方について考え、工夫している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児にとっての遊びの意義について理解している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児と触れ合い (6) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児と触れ合う活動などを通して、幼児に関心を持ち、適切に関わろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の心身の発達に応じた関わり方について、観察したことを生かして考え、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の遊びや幼児の発達と家族との関わりなどについて、観点に基づいて観察し、整理することができる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもにとっての家族 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族又は幼児の生活をよりよくすることに関心を持ち、課題を主体的に捉え、製作や幼児と触れ合う活動などの計画と実践に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族又は幼児の生活について課題を見付け、その解決を目指して製作や幼児と触れ合う活動などの計画を自分なりに工夫している。 ・ 製作や幼児と触れ合う活動などの実践の成果と課題についてまとめたり、発表したりしている。 		

3. 生活や社会と関わる「よりよい生活者」を育む手立て（言語活動など）

- 幼いころを振り返ろう
 - ・ 幼いころ好きだったものや遊び等をまとめさせたりインタビューや写真などを手がかりにしたりして振り返らせる。
- 幼児の心身の発達と生活を考えよう
 - ・ ビデオなどを見て幼児の心身の発達についてまとめさせる。
 - ・ 身近な幼児の観察を通して、幼児の心身の発達や生活の特徴を調べる。
 - ・ 幼児の生活習慣について理解し、生活習慣を身に付けさせるための方法や工夫点について考え、発表させる。
- 幼児の生活と遊びを知ろう
 - ・ 幼児のいろいろな遊びを観察し（ビデオ・写真など）、遊びで育つ力について考えさせる。
 - ・ 遊び道具や遊び場所について調べ、遊び道具の役割や遊ぶ環境、安全についてアイデアを出し合う。
- 幼児と触れ合おう
 - ・ 幼児との触れ合いを通して学んだことをレポートにまとめ、発表させる。
 - ・ 幼児との触れ合い体験後、お礼の手紙を書く。
- 子どもにとっての家族を考えよう
 - ・ 子育てサポートセンターなど地域の子育てに関わる機関について調べる。

技術・家庭科（家庭分野）評価規準表

題材名	食生活と栄養，献立作り	（ 8 時間扱い）
	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の取り方を考えよう ・栄養素の働きを知ろう ・バランスのとれた献立を作ろう <ul style="list-style-type: none"> ・食品と栄養素のかかわりを考えよう ・何をどのくらい食べたらよいのだろう 	

1. 評価規準に盛り込むべき事項

	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
B(1)アイ B(2)アイ	中学生の食生活と栄養，日常食の献立について関心をもって学習活動に取り組み，食生活をよりよくしようとしている。	中学生の食生活と栄養，日常食の献立について課題を見付け，その解決を目指して工夫している。		中学生の食生活と栄養，日常食の献立について理解し，基礎的・基本的な知識を身に付けている。

2. 学習内容及び評価規準の設定例

・食事のとり方 (1)	・自分の食生活に関心を持ち，健康によい食習慣について考え，日常生活で実践しようとしている。			・食事の役割や健康によい食習慣の重要性について理解している。
・食品と栄養素のかかわり (1)	・食品に含まれる栄養素に関心を持ち，食品について調べようとしている。			
・栄養素の働き (1)	・中学生に必要な栄養の特徴について関心を持ち，自分の食事とかかわらせて考えようとしている。			・栄養素の種類と働きについて理解している。 ・中学生に必要な栄養素の特徴について理解している。
・食品の栄養的特質 (3)	・食品の栄養的特質や中学生の1日に必要な食品の種類や概量について調べたり，計量したりしようとしている。			・食品の栄養的特質について理解している。 ・食品群や食品群別摂取量の目安について理解している。 ・食品を食品群に分類したり，計量したりする活動を通して，中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。
・バランスのとれた献立 (2)	・中学生の1日分の食事のとり方に関心を持ち，必要な栄養素を満たす食事のとり方をしようとしている。	中学生の食生活と栄養，日常食の献立について課題を見付け，その解決を目指して工夫している。		・中学生に必要な栄養量を満たす1日分の献立の立て方について理解している。

3. 生活や社会と関わる「よりよい生活者」を育む手立て（言語活動など）

- バランスのとれた献立を作ろう
- ・1日分の食事を振り返り，6つの食品群に分けてチェックし，自分の食生活の課題を見付けさせる。
- ・献立を考える際のポイントについて，給食献立表をもとにグループで話し合い，栄養，嗜好，調理法，季節，費用，地域の食材などの点から検討する必要があることに気づかせる。
- ・献立作成に当たって，各自の課題や解決のために工夫したことが明確になるような献立作成表を工夫する。
- ・相互評価表を用いて，献立を改善するためのグループの話し合い活動を工夫し，よりよい献立を考えさせる。

技術・家庭科（家庭分野）評価規準表

題材名	食品の選び方	（ 4 時間扱い）
	<ul style="list-style-type: none"> ・生鮮食品の選び方を考えよう。 ・加工食品の選び方を考えよう。 ・食品の表示を調べよう。 ・食品に合った保存方法を調べよう。 	

1. 評価規準に盛り込むべき事項

	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
B (2) ウ	食品の選び方について関心をもって学習活動に取り組み、食生活をよりよくしようとしている。	食品の選び方について課題を見付け、その解決を目指して工夫している。	食品の選び方に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	食品の選び方について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。

2. 学習内容及び評価規準の設定例

・生鮮食品の選び方 (1)	生鮮食品の選び方について関心をもって学習活動に取り組み、食生活をよりよくしようとしている。			
・加工食品の選び方 (1)				食品の選択における観点について理解している。 ・目的 ・栄養 ・価格 ・環境 ・調理の能率
・食品の表示 (1)			身近な食品を選択するために必要な情報を収集・整理することができる。	
・食品に合った保存方法 (1)		用途に応じた食品の選び方や保存について、収集・整理した情報を活用して考え、工夫している。		

3. 生活や社会と関わる「よりよい生活者」を育む手立て（言語活動など）

<p>○生鮮食品の選び方を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生鮮食品について、鮮度の良いものとそうでないものの実物を準備し、買い物の擬似体験をさせ、どんな点に気を付ければよいのか考えさせる。 <p>○加工食品の選び方を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工食品の選択のポイントを話し合い、ワークシートにまとめる。 <p>○食品の表示を調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な食品の表示を準備し、身近な食品を選択するために必要な情報にはどのようなものがあるのか、話し合い、ワークシートにまとめる。 <p>○食品に合った保存方法を調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品の保存方法について家庭で実践している方法を調べ、発表する。

技術・家庭科（家庭分野）評価規準表

題材名	地域の食材を生かした調理をしよう	（ 7 時間扱い）
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の食材を知ろう ・地域の食材を生かした調理をしよう ・地域の食材を紹介しよう 	

1. 評価規準に盛り込むべき事項

	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
B (3) イウ	日常食の調理と地域の食文化について関心をもって学習活動に取り組み、食生活をよりよくするために実践しようとしている。	日常食の調理と地域の食文化について課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。	日常食や地域の食材を生かした調理に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	地域の食文化の意義について理解するとともに、日常食や地域の食材を生かした調理に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

2. 学習内容及び評価規準の設定例

・地域の食材 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の食材を生かした日常食などの調理を通して、地域の食文化に関心をもっている。 ・地域の食材について興味をもって学習に取り組むことができる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・地域でとれる食材のよさやそれを利用した調理について理解している。 ・地域の食材を用いることや地域の食文化の意義について理解している。
・地域の食材を生かした調理 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の食生活をよりよくすることに関心をもち、課題を主体的にとらえ、日常食又は地域の食材を生かした調理などの計画と実践に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の食材を生かした調理などの計画を自分なりに工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全と衛生に留意しながら、手順よく調理をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食材を生かす調理方法について理解している。
・地域の食材の紹介 (3)		<ul style="list-style-type: none"> ・日常食又は地域の食材を生かした調理などの実践の成果と課題についてまとめたり、発表したりすることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・紹介する内容を分かりやすくまとめ、発表することができる。

3. 生活や社会と関わる「よりよい生活者」を育む手立て（言語活動など）

<ul style="list-style-type: none"> ○地域の食材を知ろう <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消の資料から自分の考えをまとめ、発表する。 ・地域の食材のよさについて話し合い、発表する。 ○地域の食材を生かした調理をしよう <ul style="list-style-type: none"> ・各自が調べてきた料理について発表し合い、情報を交換する。 ・グループで必要な材料や用具、作業手順などについて話し合い、計画表を作成する。 ・実習後は反省を行い、改善点などについて話し合う。 ○地域の食材を紹介しよう <ul style="list-style-type: none"> ・地域の食材を生かした料理を紹介する方法について話し合う。 ・地域の食材を生かした料理についてまとめ、紹介する。

技術・家庭科（家庭分野）評価規準表

題材名	快適で豊かな衣生活	（ 8 時間扱い）
	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の働きと着る目的を考えよう ・衣服の計画的な活用方法を考えよう ・衣服の選び方を考えよう 	

1. 評価規準に盛り込むべき事項

	生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
C (1) アイウ	衣服の着用，選択，手入れについて関心をもって学習活動に取り組み，衣生活をよりよくしようとしている。	衣服の着用，選択，手入れについて課題を見付け，その解決を目指して工夫している。	衣服の着用，選択，手入れに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	衣服の着用，選択，手入れについて理解し，基礎的・基本的な知識を身に付けている。

2. 学習内容及び評価規準の設定例

・衣服の働きと着る目的 (1)	・衣服と社会生活とのかわりに関心を持ち，時・場所・場合に応じた衣服を着用しようとしている。			・衣服の社会上の機能について理解している。
・自分らしい着方 (1)		・目的に応じた着用や個性を生かす着用について考え，工夫している。		
・衣服の計画的な活用方法を (1)				・衣服の計画的な活用の必要性を理解している。
・衣服の選び方 (2)		・目的に応じた衣服の適切な選択について考え，工夫している。	・既製服を選択するための情報を収集・整理することができる。	・既製服の表示と選択に当たっての留意事項について理解している。
・衣服の手入れと補修 (3)	・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れに関心を持ち，洗濯や補修の課題に取り組もうとしている。	・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて考え，工夫している。	・衣服の材料や汚れ方に応じた方法で日常着の洗濯ができる。 ・補修の目的と布地に適した方法で衣服を補修することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・洗濯の要点と方法について理解している。 ・衣服材料の手入れにかかわる性質 ・洗剤の働きと種 ・電気洗濯機を用いた洗濯の特徴 ・汚れ方に応じた洗い方 ・補修の目的と布地に適した方法について理解している。

3. 生活や社会と関わる「よりよい生活者」を育む手立て（言語活動など）

<ul style="list-style-type: none"> ○自分らしい着方をしよう <ul style="list-style-type: none"> ・色や柄，素材，衣服の組み合わせ，小物の活用などコーディネートに必要なことを知り，友達のアドバイスも参考にしながら自分に合うコーディネートを考える。 ○衣服の計画的な活用方法を考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・各自がよく着る衣服とあまり着ない衣服のそれぞれの特徴を調べ，あまり着ない衣服の理由に共通点がないかを考え，グループで話し合う。 ・あまり着ていない衣服の着方や再利用の方法を考え，グループでアイデアを出し合う。 ○衣服の選び方を考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・既製服を選ぶ際に重視することを考える。 ・自分の持っている既製服の表示を調べて，表示から分かる情報についてまとめ，発表する。 ○衣服の手入れと補修をしよう <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の手入れと補修の必要性についてグループで話し合い，衣服の種類や状態に応じた手入れの方法を調べる。 ・手入れや補修のポイントをもとに実践し，気づいたことを発表する。
--

技術・家庭科（家庭分野）評価規準表

題材名	住生活と自立	（ 8 時間扱い）
	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの役割とは何だろう ・安全で快適な住まい方を工夫しよう 	

1. 評価規準に盛り込むべき事項

	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
C (2) アイ	安全で快適な室内環境の整え方と住まい方について関心をもって学習活動に取り組み、住生活をよりよくしようとしている。	安全で快適な室内環境の整え方と住まい方について課題を見付け、その解決を目指して工夫している。		住居の機能について理解し、安全で快適な室内環境の整え方と住まい方に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

2. 学習内容及び評価規準の設定例

・住まいの役割 (1)	・自分や家族の住空間と生活行為の関わりについて関心をもって学習活動に取り組んでいる。			・住居の基本的な機能について理解している。
・住まいの働きとかかわり (2)				
・安全に住むためには (1)	・安全で快適な室内環境に関心を持ち、整え方や住まい方の課題に取り組もうとしている			・安全で快適な室内環境の整え方と住まい方に関する具体的な方法について理解している。 ・家庭内事故の防止や自然災害への備え
・健康で快適な室内環境 (3)		・室内環境について課題を見付け、調査・観察・実験などを通して、安全で快適な整え方や住まい方について考え、工夫している。		・安全で快適な室内環境の整え方と住まい方に関する具体的な方法について理解している。 ・室内の空気調節 ・音と生活の関わり
・よりよい住生活 (1)	・家族が安全で快適に住むための住まいの工夫について考えようとしている。	・これまでの学習を生かし、家族が安全で快適に住むための方法について考え、工夫している。		

3. 生活や社会と関わる「よりよい生活者」を育む手立て（言語活動など）

<ul style="list-style-type: none"> ○住まいの役割とは何だろう ○住まいの働きとかかわりについて考えよう ・家族の住空間について考えさせる。 ・住宅に関する図を見て、住居の役割について具体的に考える。 ・住居の役割についての話し合い活動をする。

技術・家庭科（家庭分野）評価規準表

題材名	生活を豊かにするために工夫しよう	（ 9 時間扱い）
	<ul style="list-style-type: none"> ・生活を豊かにする布を用いた小物を考えよう ・布を用いて、生活を豊かにする小物を作ろう ・作った小物を活用し、成果と課題を発表しよう 	

1. 評価規準に盛り込むべき事項

	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
C (3) アイ	衣生活、住生活などの生活の工夫について関心を持ち、布を用いた物の製作などに取り組み、衣生活又は住生活を豊かにするために実践しようとしている。	衣生活、住生活などの生活の工夫について課題を見付け、その解決を目指して工夫し創造している。	布を用いた物の製作や衣生活、住生活などの生活の工夫に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	衣生活、住生活などの生活の工夫に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

2. 学習内容及び評価規準の設定例

・生活を豊かにする布を用いた小物 (1)	・布を用いた物の製作に関心をもって取り組み、自分や家族の生活を豊かにしようとしている。	・衣生活や住生活を豊かにするための製作品を考え、製作計画や方法について自分なりに工夫をしている。		
・布を用いて、生活を豊かにする小物 (6)	・自分や家族の衣生活又は住生活をよりよくすることに関心をもち、課題を主体的にとらえ、布を用いた物の製作に取り組みようとしている。	・目的に応じた縫い方や製作方法などを工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で能率よく、布を用いた物の製作をすることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じた縫い方 ・用具の安全な取扱い 	<ul style="list-style-type: none"> ・布を用いた物の製作に関する知識を身に付けている。 <ul style="list-style-type: none"> ・材料と用具の選択 ・製作手順 ・目的に応じた縫い方 ・用具の安全な取扱い
・作った小物を活用し、成果と課題 (2)		・製作や調査などの実践の成果と課題についてまとめたり、発表したりしている。		

3. 生活や社会と関わる「よりよい生活者」を育む手立て（言語活動など）

<ul style="list-style-type: none"> ○生活を豊かにする布を用いた小物を考えよう ・布を用いた身近な小物を発表し合う。 ・自分や家族の生活にあると便利な物、家族が喜ぶ物などを考える。 ○布を用いて、生活を豊かにする小物を作ろう ・活用するために必要な大きさや形、強度などについて考える。 ・目的に応じた縫い方や必要な用具や材料について調べる。 ・図や段階見本などを見て確認しながら、製作を続ける。 ○作った小物を活用し、成果と課題を発表しよう ・作った小物を実際に使い、気づいたことをレポートにまとめて発表する。

技術・家庭科（家庭分野）評価規準表

題材名	わたしたちの消費生活	(4 時間扱い)
	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者としての自覚をもとう ・商品の選択と購入について考えよう ・消費者の権利と責任を知ろう ・消費者トラブルを解決する方法を知ろう 	

1. 評価規準に盛り込むべき事項

	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
D (1) アイ	家庭生活と消費について関心をもって学習活動に取り組み、消費生活をよりよくしようとしている。	家庭生活と消費について課題を見付け、その解決を目指して工夫している。	家庭生活と消費に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	家庭生活と消費について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。

2. 学習内容及び評価規準の設定例

<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活について ・消費者としての自覚 <p style="text-align: center;">(2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の消費生活を振り返り、課題について考え、まとめることができる。 ・自分や家族の消費生活について関心を持ち、消費の在り方を改善しようとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の基本的な権利と責任、消費者基本法の趣旨について理解している。
<ul style="list-style-type: none"> ・商品の選択と購入について <p style="text-align: center;">(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な販売方法に関心を持ち、その利点と問題点について考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・収集・整理した情報を活用して物資・サービスの選択、購入及び活用について考え、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物資・サービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生に関わりの深い販売方法の特徴について理解している。 ・物資・サービスの選択、購入及び活用に関する知識を身に付けている。
<ul style="list-style-type: none"> ・消費者トラブルを解決する方法 <p style="text-align: center;">(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者生活にかかわるトラブルなどを解決する方法を考えることを通して、自分や家族の消費のあり方を改善しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者トラブルに対応するための方法について考え、工夫している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・消費者トラブルに関する知識を身につけている。

3. 生活や社会と関わる「よりよい生活者」を育む手立て（言語活動など）

<ul style="list-style-type: none"> ○消費生活について考えよう ○消費者としての自覚をもとう <ul style="list-style-type: none"> ・自分の消費生活の課題について考え、各自まとめたり、発表し合ったりする。 ・消費者の権利と責任について、自分の消費行動を踏まえて考え、発表する。 ○商品の選択と購入について考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・商品を購入する際に気をつけていることやポイントにしていることを話し合い、まとめる。 ・折り込み広告を見て気づいたことを話し合う。 ・さまざまな商品についているマークの意味や情報について調べ、実生活に生かすための手立てとする。 ○消費者トラブルを解決する方法を知ろう <ul style="list-style-type: none"> ・消費者トラブルへの対応と解決方法について、ロールプレイングを交えて考え、まとめる。
--

技術・家庭科（家庭分野）評価規準表

題材名	環境に配慮した消費生活	(4 時間扱い)
	<ul style="list-style-type: none"> ・生活と環境のかかわりについて考えよう ・よりよい消費生活をめざして—循環型社会— 	

1. 評価規準に盛り込むべき事項

	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
D (2) ア	環境に配慮した消費生活について関心をもつて学習活動に取り組み、よりよい生活を実践しようとしている。	環境に配慮した消費生活について課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。		消費生活と環境とのかかわりについて理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。

2. 学習内容及び評価規準の設定例

<ul style="list-style-type: none"> ・生活と環境のかかわり (3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の消費生活が環境に与える影響について関心を持ち、環境に配慮した消費生活を実践しようとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の消費生活が環境に与える影響について理解している。
<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい消費生活をめざして—循環型社会— (1) 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の消費生活を点検し、環境に配慮した消費生活について考えたり、実践を通して自分なりに工夫したりしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した消費生活に関する知識を身に付けている。

3. 生活や社会と関わる「よりよい生活者」を育む手立て（言語活動など）

<p>○生活と環境のかかわりについて考えよう。</p> <p>○よりよい消費生活をめざして—循環型社会—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活とエネルギーや資源のかかわりについて、自分の生活を振り返りながら、環境に配慮した生活についての工夫について話し合い、まとめる。 ・実践計画を立て、レポートにまとめる。 ・ジグソー学習での学習形態をとり、それぞれ情報交換を行う中で、環境に配慮した生活について考えを深められるようにする。
--